

十年前の君へ

藤田佳音

ごっごっごっごっ

それはあまりにも突然のことで
何が起きたのかも分からなくて

……

ケータイやテレビからは
耳をふさぎたくなるような赤い音

減っていく行方不明者数

増えていく死者数

やるせなかったよね

でも見ていることしかできなかった

ざぼーん

十年の時を経てあの海を指さす

なんて美しい

なんて輝かしい

そして

なんて残酷なんだろう

十年前の君へ

どうか泣かないで

だって今は、地も、海も

こんなに穏やかな顔をしている